

**Active Directoryの運用が
DXを遅らせていませんか？**

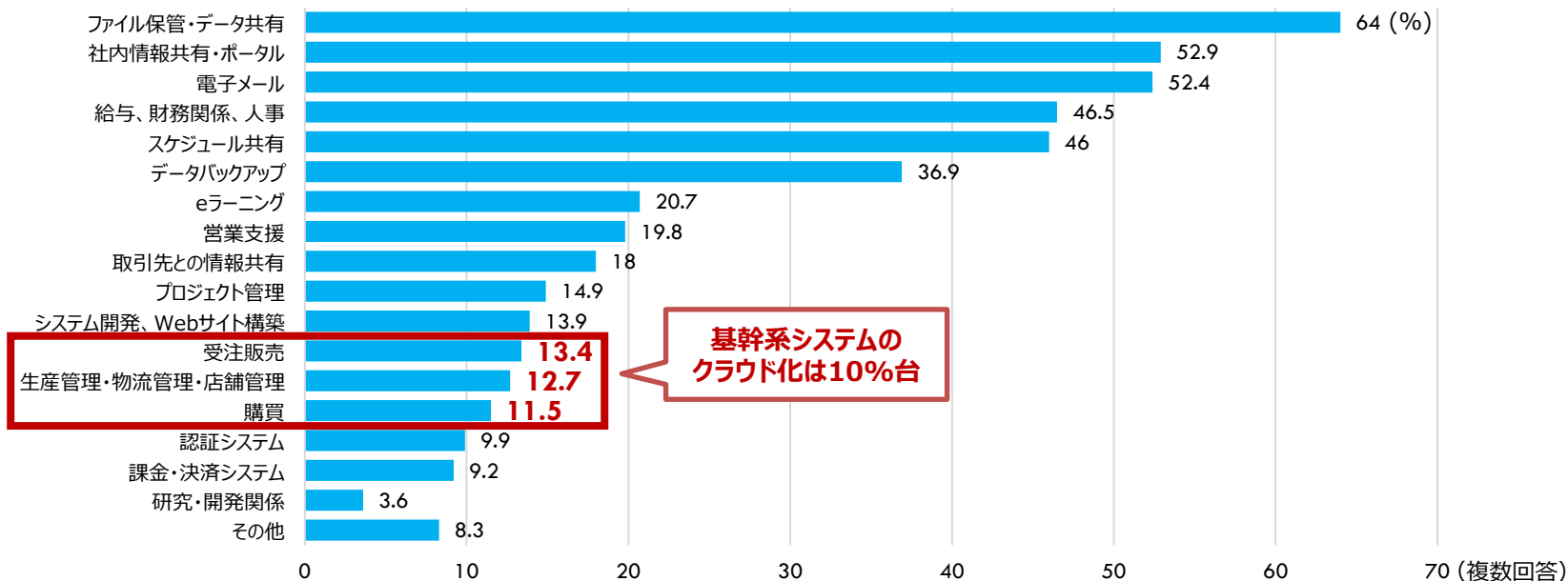
HITACHI
Inspire the Next



フルクラウド化を見据え、クラウド化を妨げている「認証問題」を解決しませんか

オンプレミスとクラウドのハイブリッド利用から、フルクラウド化への移行を検討する動きが活発化しています。しかし現状は**コア業務を支える基幹系システムのクラウド化でさえ10%台**に留まっています。Active Directoryで管理するアプリケーションを使い続けると、生成AIなどの最新技術を活用することも、変化の激しいビジネスに対応することもできません。まず、クラウド化を妨げている**「認証問題」**を解決し、**業務効率化やセキュリティを強化**しませんか。そして**クラウド運用に慣れたらフルクラウドに移行**することをお勧めします。

具体的に利用しているクラウドサービス (n=1,858)



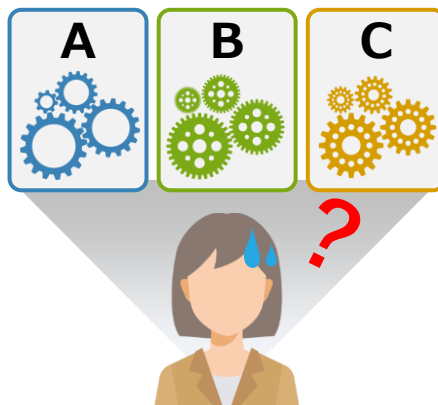
基幹系システムの**オンプレミス運用**で、こんな問題でお悩みではありませんか？

DXに欠かせないデータドリブン経営を推進するためには、基幹系システムのクラウド移行は外せません。たとえば、サイロ化した基幹系システムは、部門間連携が取れないうえ、クラウドサービスで提供されるAIとも連携できないため、意思決定の精度向上につながるデータ分析を行うことも困難です。

クラウドのAI活用が難しく
DXに欠かせない
データドリブンを推進できない...



企業合併の際、
システム統合に時間がかかり、
すぐに業務を始められない...



ゼロトラストが当たり前の時代、
ID/Passwordだけの認証に
不安を感じる...



では、なぜ基幹系はクラウドシフトができていないの？

クラウドに対して思い込みがありませんか？たとえば、データを「外」に置いて管理するクラウドは、自社の管理下でサーバーを守るオンプレミスより危険です。カスタマイズが難しいSaaSは、自社の業務に合わせて作った基幹系システムの代わりにはなりません。また、膨大なコストをかけて改修するなんてもってのほか...思い当たる方は、そろそろ知識のアップデートが必要です。

① コア業務なので外部に持ち出せない



機密情報が
流失したら
大変なことになる



② 企業特化のシステムなのでSaaS利用できない



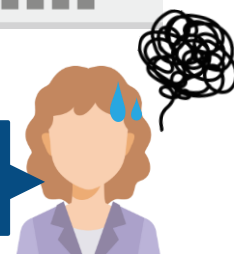
改良を重ねたシステムだから他のシステムに置き換えることは考えられません



③ 大規模で工数も時間もかかる

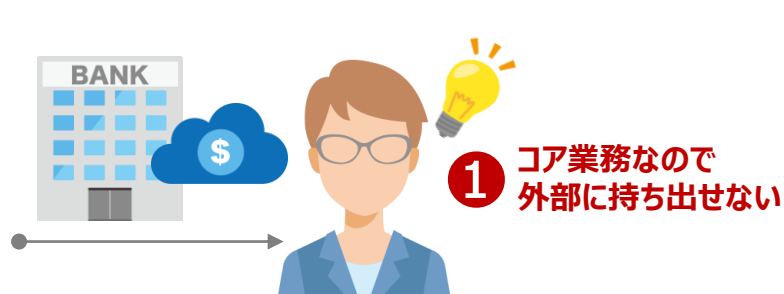


コストがかかるなら現在のシステムを使い続けます



基幹系システムのクラウドシフト、解決方法があります！

クラウドの安全性については、クラウドサービス事業者側がセキュリティ機能を担保してくれるので、安心して利用することができます。また、IaaS（インフラストラクチャー・アズ・ア・サービス）とPaaS（プラットフォーム・アズ・ア・サービス）を活用すれば、移行にかかる手間と時間を抑えながら、**既存環境の技術や運用方法をクラウド環境に継承**することができます。



クラウド事業者の企業努力もあり、金融業界の厳しい規制に準拠するほど、**最近のクラウドは高いセキュリティを備えています。**

基幹系システムと秘匿性が変わらないファイルサーバーや電子メールを使うように、気軽にクラウドを利用することができます。



IaaS

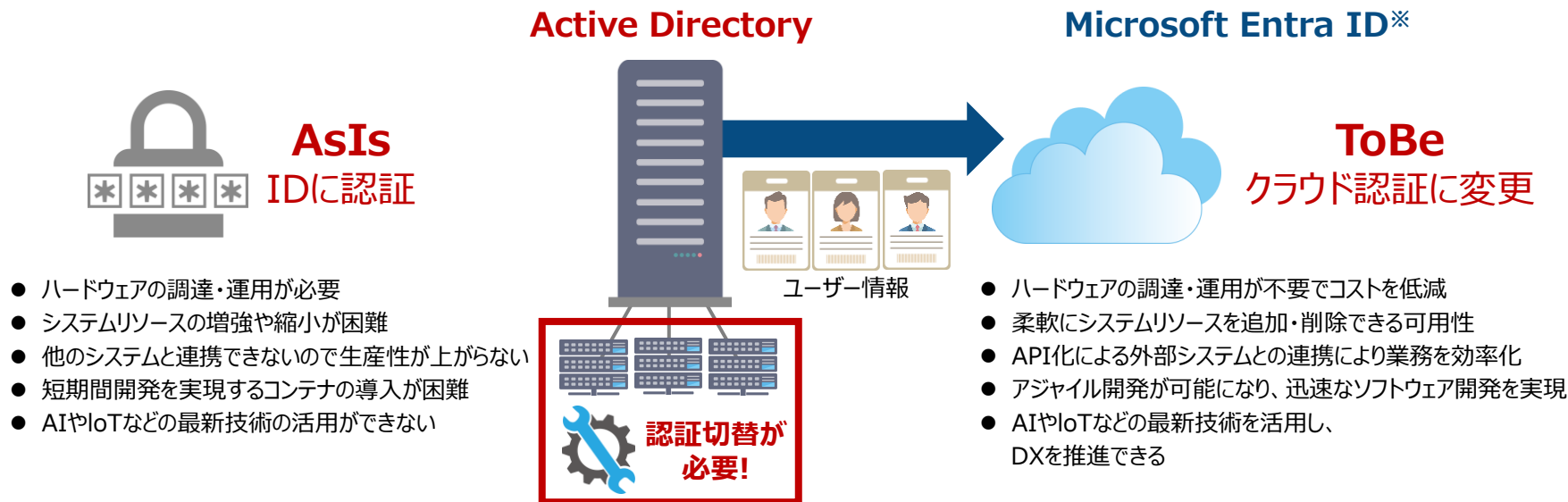
現在お使いのオンプレミスの**利用形態をそのままクラウドに移行**することができます。

PaaS

クラウドへ移行させることは可能ですが、システムを再構築する必要があり手間がかかります。

ただしクラウドシフトには、「**認証切替**」という大きな障壁があります！

IaaSを選択すれば、現状の基幹系システムの利用形態をそのまま移行することが可能です。ただし、問題として多大なコストと工数を要する「**認証切替**」を行う必要があります。そのために、クラウドへの移行を諦めて、現行構成で利用し続ける企業も数多く存在します。



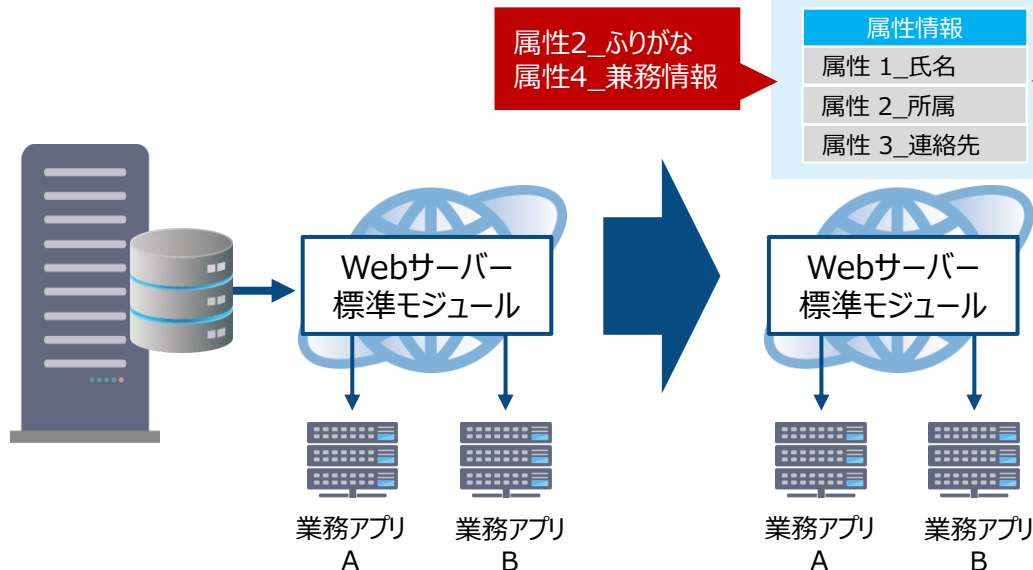
※ : Microsoft Enter ID (旧 Azure Active Directory)

最大の障壁はMicrosoft Entra IDの**拡張属性の登録に上限**があることです

Microsoft 365、Dynamics 365をお使いのお客さまなら、クラウドの認証先としてMicrosoft Entra IDがあります。しかし、Microsoft Entra IDは追加できる**標準属性情報に上限**があるため、これまで利用していた属性情報をすべて保持できないという課題があります。認証情報を過不足なくMicrosoft Entra IDに付与するためには、移行させる業務アプリケーションごとに改修を行う必要があり、**膨大なコストと時間**を要します。

Active Directoryの認証構成

Microsoft Entra IDに移行する際に生じる課題



日立ソリューションズは、日立グループを含むさまざまなお客さまの**Microsoft Entra ID移行や認証基盤の統合支援で培った知見やノウハウ**をもとに、フルクラウド化を推進する企業の認証に関する課題解決をお手伝いします。また、クラウドのセキュリティ対策や運用省力に関するソリューションも併せてご提案しますので、お気軽にお問合せください。



その① 実績・ノウハウ

- ✓ コンサルティングも、実績をベースにガイドラインを作成。安心して認証モダナイズ化のステップを踏むことができます。
- ✓ お客さまの状況に合わせて、アプリケーションの切り替え（移行パターン、ユースケース等）に重点を置いたコンサルティングも実施します。



その② 追加モジュールを提供

- ✓ 1つ、1つアプリケーションを改修していくのは大変。Webサービスに追加モジュールを組み込むことによりアプリケーションの認証モダナイズ化を実現でき、時間とコストの圧縮に貢献します。



その③ フルクラウド化に向けたワンストップ対応

- ✓ 認証モダナイズ化した後のフルクラウド化もワンストップで対応します。
- ✓ フルクラウド化に向けゼロトラストを実現するためのセキュリティ対策も支援します。

商品・サービスに関するお問い合わせ

お問い合わせや資料請求、お見積もりなど、お気軽にご連絡ください。

【ソリューションの詳細】

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/ms-solutions/sp/solution/authentication/>

【お問い合わせ】

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/cgi-bin/form/ms-solutions/contact/>



[後編のダウンロードはこちら](#)


脱オンプレの第一歩「認証の切替え」

Microsoft Entra ID へ、すぐに移行できます！

END



Active Directoryの運用がDXを遅らせていませんか？

 株式会社 日立ソリューションズ